

2月15日(月)

郡上の木のぬくもりですくすく育ってほしい

—郡上市木製玩具贈呈式—

▶贈呈式の様子



市では、地元で生まれたお子さんに感謝の気持ちを込めて、市内で製作された木製玩具を贈呈する取り組みを始めました。今回、市長から6つの木製玩具製造業者のみなさんが丹精込めて作られた木製玩具を4組の親子に贈呈しました。受け取った保護者のみなさんは、「地元で作られた玩具であることを成長したら伝えたい」と話され、子どもたちは、興味深げに木製玩具に触れていました。

今後は、9～10ヵ月児健診でカタログを贈呈し、申し込まれた玩具を業者がお届けします。

2月17日
(水)

災害による停電の早期復旧を図る

—災害時協定の締結—

中部電力パワーグリッド株式会社と市は、「災害時における停電復旧に係る応急措置の実施の支障となる障害物等の除去等に関する協定」を締結しました。地震、風水害その他の災害により市内で停電が発生した際に、中部電力パワーグリッド株式会社と市が連携して、停電復旧の支障となる障害物等の除去等を実施し、早期復旧に努めます。



◀協定締結時の写真

2月17日
(水)

事業化に向けた活動の成果を報告

—郡上カンパニー活動報告会を開催—

「地域に根差した仕事」をつくる「郡上カンパニー」の活動報告会が産業プラザで行われました。報告会では、1年間の活動の成果や郡上での暮らしについて発表し、今年度が最終年度のプロジェクトについては、4月からの本格的な事業に向けての展望などを話されました。



▶報告会の様子

2月17日(水)

コロナ禍の最前線で闘う医療機関に感謝を込めて

—八幡西中学校生徒会からの寄附金—

▶郡上市市民病院へ寄附金を贈った八幡西中学校生徒会のみなさん



新型コロナウイルスと闘う医療従事者への支援として、八幡西中学校生徒会の村土采さん(生徒会長)と松山新さん(副会長)、武藤結香さん(副会長)から郡上市市民病院へ寄附金が贈られました。寄附金は八幡西中学校の全生徒が一年間で集めたアルミ缶回収の収益一万円で、マスクなどの購入に充ててもらいたいというコロナ禍において最前線で戦う医療従事者みなさんへの応援と郡上へ貢献したいという熱い思いが込められていました。

100歳おめでとうございます！

－長寿者褒賞－

▶ 巽やゑさん（八幡町島谷）
大正10年2月19日生



2月24日（水）巽やゑさんが入所するせせらぎ緑風苑にて100歳のお祝い会が開催されました。コロナ対策により面会制限がありますが、電話でのお孫さんとのやり取りや娘さんとの会話を大変喜ばれていました。また、市からのお祝状や、施設職員からプレゼントされた色紙をしっかりと読まれ、お礼の言葉を述べられました。いつまでもお元気で。

2月24日（水）

反射板付きピンバッジで夜間も安全にウォーキング

－郡上高校家庭クラブからの寄贈－

郡上高校家庭クラブの西脇来美さん（会長）と山田奈緒さん（副会長）から、教育委員会が主催するウォーキングイベントの記念品として、反射板付きピンバッジ100個が寄贈されました。ピンバッジのイラストには、先輩たちのデザインした「無事帰る」の意味が込められたカエルが使われています。西脇さんたちは「夜間にウォーキングする人が多いので、ピンバッジを活用して、安全に楽しく取り組んでほしい」と話されました。



◀ 郡上高校家庭クラブの
西脇さん（左）と
山田さん（右）

2月25日（木）

今よりもっと毎日を大切にしたい

－第66回青少年読書感想文全国コンクール 全国学校図書館協議会長賞を受賞－

▶ 受賞の喜びを語った
愛莉さん（中央左）と
父の竜二さん（中央右）



白鳥小学校6年生の佐藤愛莉さんが、青少年読書感想文全国コンクールで全国学校図書館協議会長賞を受賞されました。愛莉さんは「ヒロシマ 消えた家族」を読み、大切な人と離れ離れになる戦争の残酷さや今ある日常の大切さを記されました。愛莉さんは、母の京子さんを急病で亡くされ、その時の思いも感想文に込めたとのこと。受賞について愛莉さんは「とてもうれしいです。受賞したこととこの気持ちがお母さんにも届いてほしい」と喜びを語られました。